



Chitose Rotary Club

川端会長方針
“いい仕事をしよう”

会長 川端 清 副会長 齊藤 博徳 幹事 大澤 雅松
会長エレクト 藤本 敏廣 会計 五十嵐 桂一
第2510地区ガバナー 安孫子 建雄 第7グループ・ガバナー補佐 大川 健一

ロータリー創立日 1905年2月23日
千歳RC創立日 1967年4月26日

～12月はロータリー家族月間～

本日の例会(12月 5日 第23回) 通常例会

担当: 会員増強委員会

第22回(通算2298回) 例会報告

日時: 2013年11月28日(木) 18:30~19:30

場所: 新千歳空港「万葉の湯」

プログラム: 夜間移動例会

担当: 職業奉仕委員会

司会: SAA・プログラム委員会 藤井 雅一 委員長

四つのテスト: 移動例会の為、割愛

幹事報告(大澤 雅松 幹事)



①本日は11月の夜間例会、新千歳空港温泉「万葉の湯」にて夜間移動例会です。多くの会員が温泉と料理を楽しみに出席して下さいました。ありがとうございます。

②12月の夜間例会は、19日のクリスマス家族会です。昨日、出欠確認のファックスを送信しております。今村 静男パスト会長がお花、浅利恵美子職

業奉仕委員長がお菓子、齊藤えみこ親睦活動委員長が景品、藤井会員が会場と料理の用意をしなければなりません。楽しい家族会を円滑に進める為、ご家族を含めた出欠回答を早めをお願いします。

③クリスマス家族会のビンゴの景品を募集しています。この空港ターミナルにも景品に適した品が沢山並んでいます。参考にするなり、景品用に購入するなりご利用下さい。

④下期から入会の新入会員が居る場合は、クリスマス家族会にゲストとして招きたいと考えております。次週、12月5日の通常例会担当の会員増強委員会から、どんな見通しや手応えを示して頂けるか興味深いものがあります。次回例会も多くの出席をお願いします。

職業奉仕委員会卓話(北海道空港(株)代表取締役社長 山本 邦彦 様)



昨年初めて開催し、好評を博した“万葉の湯”での夜間移動例会です。今年も引き続き山本社長が卓話を担当され、今回のテーマは“新エネルギー『雪』”と題してご講演を頂きました。北国では切っても切れない関係の雪、時には良くも悪くもなる雪を活用するクリーンでエコな「雪冷熱利用」で先端を行く北海道空港についての貴重なお話でした。

冒頭、“万葉の湯”が、平成23年7月オープン以来1年間で約21万人、24年7月からの今年一年間は約26万人(≒一日700人)の入館者があり順調に推移している事に触れ、続いて本題の「新エネルギー『雪』」について20ページに亘る資料を用いて分かり易く教えて頂きました。

最後には当クラブ職業奉仕委員会浅利美恵子委員長からの依頼により「新千歳空港ロジスティクスセンターの開発事業」と「1964年東京オリンピック時の『聖火ランナー山本社長』が2020年の東京オリンピックに思う事」について触れ、いずれも「地域、地元の発展に有効活用される

本日のお客様紹介(大澤 雅松 幹事)



本日のお客様は北海道空港(株) 代表取締役社長 山本 邦彦 様(札幌RC)です。

会長挨拶(川端 清 会長)



昨年同様、今年も夜間移動例会に当たり、北海道空港(株)山本邦彦社長様にはお忙しい中でのお取り計らいを頂き、例会場、食事、バスの送迎、新千歳空港内の温泉「万葉の湯」などのご配慮を頂きまして誠に有り難うございます。本日出席の千歳RC会員を代表してお礼申し上げます。

1926年(大正15年)10月22日に北海1号機(小樽新聞社所有)が着陸し、千歳が飛行場との関わりを持ちましてから87年間縁が切れておりません。私も空港に関わっていた時期がございます。それは、航空自衛隊内に民航施設があった時期の電気施設の維持補修などをしておりました。思えば私は空港とは無縁だと思っておりましたが、何かしら繋がりが有り現在も活かされている気がします。振り返れば懐かしい思いが一杯です。

現在、この空港施設は私達が思いもよらない豪華な施設と進化は素晴らしいものが感じられます。今日は施設の状況、またこれから目指す方向など卓話を頂きたく思います。その事以上に山本様におかれましては千歳RCにおいて、その指導力を活かして頂きたく、入会をお待ちしております。

最後に本日はいろいろとお世話下さいました山本社長様と担当の皆様へ感謝申し上げます。本当に有り難うございました。千歳RCを今後ともよろしくごお願い申し上げますと挨拶と致します。

出席率

今回: 62.9% (11月28日=34/54、実数)

確定: 66.6% (11月14日=36/54、うちMu0名)

事が望ましく期待します。」とのお話がありました。

終わりに、当クラブ川端清会長から「大変貴重で有意義なお話を頂きありがとうございます」との謝辞で楽しく有意義な卓話の時間が終了しました。

以下、エコエアポートを目標とする、北海道空港に関する卓話の概要です。

新エネルギー「雪」 ＝新千歳空港クールプロジェクト＝

一. 雪冷熱利用の動向

- ・「雪氷冷熱」が新エネルギーに登録される（新エネルギー法：2002年改正）
- ・農作物貯蔵利用は雪室（ゆきむろ）・氷室（ひむろ）など実績多数
- ・北海道、東北を主軸に施設利用も増加傾向（全国約150カ所）
- ・うち道内約65カ所あり「環境の先進県」
- ・当空港施設は貯雪量12万 m^3 （現在値、24万 m^3 まで可）で現在稼働中世界一の業容

二. 新千歳空港での取組み

- ・貯めた雪の融解水を、ターミナルビルへ供給かつ循環して冷房熱源とする
- ・空港で国が除雪した雪を貯める～融雪剤の近隣河川への流出防止⇒BOD汚染防止
- ・民間（同社）が重油を使わずにターミナルビルのエコ冷房⇒CO₂削減（1,050 t/年＝雪山12万 m^3 ・重油使用冷房比・原油430kl換算）

三. 雪冷熱供給施設の概要

- ◇所在地：千歳市美々 新千歳空港内
- ◇貯蔵ピット面積：2万 m^2 【大型ダンプ1万2千台分】
- ◇竣工：2010年2月 同年5月運用開始
- ◇雪冷熱利用方式：熱交換冷水循環方式
- ◇貯雪量：12万 m^3 （～24万 m^3 ）
- ◇目標エネルギー削減量：原油換算430KL/年（～860KL/年）
- ◇冷房供給期間：5月～9月 5ヵ月間
- ※（ ）内は将来計画

四. 職業奉仕委員会浅利美恵子委員長からの依頼

職業奉仕委員会 浅利委員長より、事前に以下の2点についてお話して頂きたい旨、お願いしていた所、この2点に関しても資料を準備して下さり、丁寧に説明をして頂きました。

●『新千歳空港ロジスティクスセンター』の開発事業について

●1964年東京オリンピック時の「聖火ランナー山本社長」と2020年東京オリンピック

※上記2点の説明に関しては当日の配布資料・ホームページをご確認下さい。

卓話の終了後、川端会長より山本社長へ本卓話に対する謝辞と記念品の贈呈が行われました。



食事の様子



卓話終了後、参加者全員で夕食を食べ、懇親を深めました。以下写真で紹介いたします。

※本日の夕食です。



※詳しくはホームページをご覧ください。

第6回木曜会開催報告

11月7・8日の両日、今年最終の木曜会ゴルフコンペが2日間の日程で開催されました。初日は室蘭ゴルフクラブ、洞爺湖での宿泊を挟んで、2日目は伊達CCで開催されたコンペには、千歳セントラルRCのメンバーも参加され、今年最終のゴルフを大いに楽しみました。

以下、結果等の詳細です。

- ・1日目 平成25年11月7日（木）9時24分スタート
室蘭ゴルフ倶楽部 白鳥コース
参加人数 18名 優勝 五十嵐桂一会員
準優勝 福田武男PC 3位 高橋都会員

宿泊 洞爺湖万世閣ホテルレイクサイドテラス

- ・2日目 平成25年11月8日（金）9時18分スタート
伊達CC
参加人数 降雨の為、数人でのプレーでした。

千歳ローターアクトクラブ第8回定例会参加報告

開催日時：平成25年11月21日 18時00分～
開催場所：ザ・ベルクラシックLien

今回の千歳RACの定例会は、親睦ワイン例会となっており、先日解禁されましたボージョレ・ヌーボーを味わいながら親睦を深める為に開催されました。千歳RCからは6名の参加で、総勢30名での定例会でした。

以下、齊藤副会長からのご報告です。

※川端会長はボージョレ・ヌーボーの今年の出来・由来を交えて会長挨拶をされていました。

※千歳RACの吉岡毅会長は、肺炎にかかり病み上がりなので今日はお酒を控えると挨拶で締めくくっていたにも拘らず、ワインをグビグビ飲んでいました・・・。

※千歳RCから参加した喜多会員は千歳RACのOBとして、またアクト会長経験者としてテーブルスピーチを行っていました。

※詳しくはホームページをご覧ください。